

平成22年9月15日

気象庁予報部予報課

## 府県週間天気予報 XML の解説

### 1 全体構成

Report

- └ Control 管理部
- └ Head ヘッダ部
- └ Body 内容部

## 2 各部の構成と内容

### (1) 管理部

#### ① 管理部の構成

##### Control

└ Title	情報名称
└ DateTime	発表時刻
└ Status	運用種別
└ EditorialOffice	編集官署名
└ PublishingOffice	発表官署名

#### ② Control 部の詳細

タグ	解説
Title	「情報名称」 電文の種別を示すための情報名称を示す。“府県週間天気予報”で固定。
DateTime	「発表時刻」 発表時刻。未来時刻にはならない。 “2008-06-26T01:51:00Z”のように協定世界時で記述する。
Status	「運用種別」 本情報の位置づけ。“通常”“訓練”“試験”のいずれかを記載。“訓練”“試験”は正規の情報として利用してはならないことを示す。
EditorialOffice	「編集官署名」 実際に発表作業を行った「編集官署名」を示す。“気象庁本庁”“大阪管区气象台”のように記述する。
PublishingOffice	「発表官署名」 本情報を業務的に発表した「発表官署名」を示す。“気象庁予報部”“大阪管区气象台”のように記述する。

## (2) ヘッダ部

### ① ヘッダ部の構成

#### Head

└ Title	標題
└ ReportDateTime	発表時刻
└ TargetDateTime	基点時刻
└ TargetDuration	基点時刻からの取りうる時間（日数）
└ EventID	識別情報
└ InfoType	情報形態
└ Serial	情報番号
└ InfoKind	スキーマの運用種別情報
└ InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン
└ Headline	見出し要素

## ②ヘッダ部の詳細

タグ	解説
Title	<p>「標題」            情報を示す標題。具体的な内容が判別できる名称であり、可視化を目的として利用する。“〇〇府県週間天気予報”（〇〇は府県予報区名）と記述する。</p>
ReportDateTime	<p>「発表時刻」            本情報の公式な発表時刻を示す。“2008-06-26T11:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。なお、府県週間天気予報の「発表時刻」は時まで変化し、分と秒は「00」と記述する。</p>
TargetDateTime	<p>「基点時刻」            本情報の対象となる時刻・時間帯の基点時刻を示す。“2008-06-27T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。府県週間天気予報は発表日翌日からの予報で、「基点時刻」は発表日翌日となる。</p>
TargetDuration	<p>「基点時刻からの取りうる時間」            情報の対象が時間幅を持つ場合、targetDateTime を基点とした時間の幅を示す。“P7D”で、「基点時刻」（発表日翌日）から7日先までの予報であることを示す。</p>
EventID	<p>「識別情報」            府県週間天気予報では要素内に何も記述しない。</p>
InfoType	<p>「情報形態」            本情報の形態を示す。“発表”“訂正”“遅延”のいずれかを記述する。</p>
Serial	<p>「情報番号」            府県週間天気予報では要素内に何も記述しない。</p>
InfoKind	<p>「スキーマの運用種別情報」            同スキーマ上における情報分類に応じた運用を示す種別情報である。“府県週間天気予報”と記述する。</p>
InfoKindVersion	<p>「スキーマの運用種別情報のバージョン」            スキーマの運用種別情報におけるバージョン番号を示す。本解説のバージョン番号は“1.0_0”。</p>
Headline	<p>「見出し要素」            防災気象情報事項となる見出し要素を示す。府県週間天気予報では何も記述しない。</p>
└ Text	<p>「見出し文」            府県週間天気予報では要素内に何も記述しない。</p>

(3) 内容部

① 内容部の構成

Body

- └ MeteorologicalInfos 予報の項目
- └ TimeSeriesInfo 時系列情報
- └ MeteorologicalInfo 予報の内容

タグ	解説
MeteorologicalInfos	予報や平年値などの項目を属性 type で指定する。属性 type は“区域予報”、“地点予報”、“日別平年値”、“7日間平年値”の値をとる。“区域予報”の場合は、天気予報文や降水確率予報（②内容部の個別要素の詳細※1参照）、“地点予報”の場合は、予想気温（②内容部の個別要素の詳細※2参照）、“日別平年値”の場合は、気温の平年値（②内容部の個別要素の詳細※3参照）、“7日間平年値”の場合は、降水量の平年値階級（②内容部の個別要素の詳細※4参照）を記述する。
└ TimeSeriesInfo	MeteorologicalInfos の属性 type で指定した予報や平年値を時系列情報として記述する。
└MeteorologicalInfo	MeteorologicalInfos の属性 type で指定した平年値を記述する。

## ②内容部の個別要素の詳細

### ※1 予報に関する事項（天気などの区域予報）の詳細

TimeSeriesInfo	時系列情報
└ TimeDefines	時系列の時刻定義セット
└└ TimeDefine	個々の時刻定義
└└└ DateTime	基点時刻
└└└ Duration	対象期間
└ Item	※1-1 “区域予報”参照

タグ	解説
TimeSeriesInfo	
└ TimeDefines	予報の対象期間を示すとともに、対応する要素の timeld を記述する。
└└ TimeDefine	同一 TimeSeriesInfo 内にある要素の ID(refID) に対応する ID(timeld) を記述する。
└└└ DateTime	予報対象日について記述する。予報対象日の開始時刻を示す。“2008-06-27T00:00:00+09:00” のように日本標準時で記述する。
└└└ Duration	予報の対象期間を示す。値「P1D」で、1日を対象とした予報であることを示す。
└ Item	予報の内容と予報区を記述する。府県予報区に含まれる発表予報区の数だけ繰り返す。※1-1参照。

※1-1 区域予報（天気、降水確率の予報、信頼度）の内容

Item	予報の内容
└ Kind	個々の予報の内容
└ Property	予報要素
└└ Type	気象要素名
└└ WeatherPart	天気予報文
└└ WeatherCodePart	天気テロップ番号
└ Kind	個々の予報の内容
└ Property	予報要素
└└ Type	気象要素名
└└ ProbabilityOfPrecipitationPart	降水確率予報
└ Kind	個々の予報の内容
└ Property	予報要素
└└ Type	気象要素名
└└ ReliabilityClassPart	信頼度
└ Area	対象地域
└└ Name	対象地域の名称
└└ Code	対象地域のコード

タグ	解説
Item	
└ Kind	予報を記述する。
└ Property	予報要素を記述する。
└└ Type	気象要素名を記述する。Type の値が“天気”の場合は天気予報文を記述する。
└└ WeatherPart	天気予報文を記述する。
└└ jmx_eb:Weather	天気予報文を記述する。属性 type は“基本天気”の値をとる。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。

└ WeatherCodePart	予報文に対応した天気テロップ番号を記述する。
└ jmx_eb:WeatherCode	テロップ番号を記述する。属性 type は“天気予報用テロップ番号”の値をとる。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Kind	予報を記述する。
└ Property	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名を記述する。Type の値が“降水確率”の場合は、降水確率について記述する。
└ ProbabilityOfPrecipitationPart	降水確率予報を記述する。
└ jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation	降水確率予報を記述する。属性 type は“日降水確率”の値をとり、日単位（24 時間）の降水確率であることを示す。属性 unit は降水確率の単位を示す。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。属性 condition は予報値の状態を示し、予報対象でない場合等で予報値が存在しない場合に“値なし”と記述する。属性 description には予報値の文字列表現が入る。
└ Kind	予報を記述する。
└ Property	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名を記述する。Type の値が“信頼度”の場合は、予報の信頼度について記述する。
└ ReliabilityClassPart	予報の信頼度を記述する。
└ jmx_eb:ReliabilityClass	予報の信頼度を記述する。属性 type は“信頼度階級”の値をとり、信頼度を階級値で記述することを示す。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。属性 condition は予報値の状態を示し、予報対象でない場合等で予報値が存在しない場合に“値なし”と記述する。
└ Area	予報対象地域を記述する。
└ Name	予報対象地域（予報区）の名称を記述する。
└ Code	予報対象地域（予報区）のコードを記述する。



※2 予報に関する事項（気温などの地点予報）の詳細

- TimeSeriesInfo 時系列情報
  - └ TimeDefines 時系列の時刻定義セット
    - └ TimeDefine 個々の時刻定義
      - └ DateTime 基点時刻
      - └ Duration 対象期間
  - └ Item ※2-1 “地点予報” 参照

タグ	解説
TimeSeriesInfo	
└ TimeDefines	予報の対象期間を示すとともに、対応する要素の timeId を記述する。
└└ TimeDefine	同一 TimeSeriesInfo 内にある要素の ID(refID)に対応する ID(timeId)を記述する。
└└└ DateTime	予報対象日について記述する。予報対象日の開始時刻を示す。 “2008-06-27T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└└└ Duration	予報の対象期間を示す。値「P1D」で、1日を対象とした予報であることを示す。
└ Item	予報の内容と予報地点を記述する。府県予報区に含まれる発表予報地点の数だけ繰り返す。※2-1参照。

※2-1 地点予報（気温の予報）の内容

Item	予報の内容
└ Kind	個々の予報の内容
└ Property	予報要素
└└ Type	気象要素名
└└ TemperaturePart	気温
└ Station	発表予想地点
└└ Name	発表予想地点の名称
└└ Code	発表予想地点のコード

タグ	解説
Item	
└ Kind	予報を記述する。
└ Property	予報要素を記述する。
└└ Type	気象要素名を記述する。TemperaturePart に記述する予想気温の内容を示し“最低気温”、“最低気温予測範囲”、“最高気温”、“最高気温予測範囲”の値をとる。
└└ TemperaturePart	気温に関して記述する。
└└└ jmx_eb:Temperature	予想気温を記述する。属性 type は“最低気温”、“最低気温予測範囲（上端）”、“最低気温予測範囲（下端）”、“最高気温”、“最高気温予測範囲（上端）”、“最高気温予測範囲（下端）”の値をとり、予想気温の内容を示す。属性 unit は気温の単位を示す。属性 refID は、予報対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。属性 condition は予報値の状態を示し、予報対象でない場合等で予報値が存在しない場合に“値なし”と記述する。属性 description には予報値の文字列表現が入る。
└ Station	予報対象地点について記述する。※
└└ Name	対象地点の名称を記述する。
└└ Code	対象地点のコードを記述する。

※対象地点は府県天気予報・府県週間天気予報\_解説資料付録を参照のこと

※3 平年値に関する事項（気温の日別平年値）の詳細

- TimeSeriesInfo 時系列情報
  - └ TimeDefines 時系列の時刻定義セット
    - └ TimeDefine 個々の時刻定義
      - └ DateTime 基点時刻
      - └ Duration 対象期間
  - └ Item ※3-1 気温の日別平年値を参照

タグ	解説
TimeSeriesInfo	
└ TimeDefines	記述する平年値の期間を示すとともに、対応する要素の timeId を記述する。
└ TimeDefine	同一 TimeSeriesInfo 内にある要素の ID(refID)に対応する ID(timeId)を記述する。
└ DateTime	平年値の日付について記述する。掲載した平年値の開始時刻（日付）を示す。 “2008-06-27T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└ Duration	予報の対象期間を示す。値「P1D」で、日別の平年値であることを示す。
└ Item	平年値の内容と掲載地点を記述する。掲載地点の数だけ繰り返す。※3-1を参照。

※3-1 気温の日別平年値の内容

Item	予報の内容
└ Kind	個々の予報の内容
└ Property	予報要素
└└ Type	気象要素名
└└ TemperaturePart	気温
└ Station	発表予想地点
└└ Name	発表予想地点の名称
└└ Code	発表予想地点のコード

タグ	解説
Item	
└ Kind	予報を記述する。
└ Property	予報要素を記述する。
└└ Type	気象要素名を記述する。TemperaturePart に記述する予想気温の内容を示し“最低気温平年値”、“最高気温平年値”の値をとる。
└└ TemperaturePart	気温に関して記述する。
└└└ jmx_eb:Temperature	気温の値を記述する。属性 type は、“最低気温平年値”、“最高気温平年値”の値をとり、気温の内容を示す。属性 unit は気温の単位を示す。属性 refID は、対象日の参照番号を記述する。TimeDefines で定義した timeId に対応する。属性 description には値の文字列表現が入る。
└ Station	対象地点を記述する。※
└└ Name	地点の名称を記述する。
└└ Code	地点のコードを記述する。

※対象地点は府県天気予報・府県週間天気予報\_解説資料付録を参照のこと

※4 平年値に関する事項（7日間降水量の平年値）の詳細

MeteorologicalInfo

- └ DateTime            基点時刻
- └ Duration           期間の長さ
- └ Item                ※4-1 降水量平年値を参照

タグ	解説
MeteorologicalInfo	
└ DateTime	平年値の開始日を示す。いつからの平年値に関する記述であるかを示す。
└ Duration	平年値の期間を示す。値「P7D」で7日間の平年値に関する記述であることを示す。
└ Item	平年値の内容と掲載地点を記述する。掲載地点の数だけ繰り返す。※4-1参照。

※4-1 降水量の平年値の内容

- └ Item 予報の内容
- └ Kind 個々の予報の内容
- └ Property 予報要素
  - └ Type 気象要素名
  - └ PrecipitationClassPart 平年値の階級閾値

タグ	解説
Item	
└ Kind	予報を記述する。
└ Property	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名を記述する。PrecipitationClassPart に記述する降水量の内容を示し“降水量7日間合計階級閾値”の値をとる。
└ PrecipitationClassPart	降水量の平年値階級について記述する。 例えば、「平年並」の範囲は jmx_eb:ThresholdOfBelowNormal 「平年より少ないとなる閾値」を超え、 jmx_eb:ThresholdOfAboveNormal 「平年より多いとなる閾値」以下となる。
└ jmx_eb:ThresholdOfMinimum	かなり少ないときの最小値（参考値）を記述する。属性 type は“降水量7日間合計階級最小値”の値をとり、階級閾値の内容を示す。属性 unit は降水量の単位を示す。属性 description には値の文字列表現が入る。
└ jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyBelowNormal	平年よりかなり少ないとなる閾値を記述する。属性 type は“降水量7日間合計階級かなり少ない”の値をとり、階級閾値の内容を示す。属性 unit は降水量の単位を示す。属性 description には値の文字列表現が入る。
└ jmx_eb:ThresholdOfBelowNormal	平年より少ないとなる閾値を記述する。属性 type は“降水量7日間合計階級少ない”の値をとり、階級閾値の内容を示す。属性 unit は降水量の単位を示す。属性 description には値の文字列表現が入る。
└ jmx_eb:ThresholdOfAboveNormal	平年より多いとなる閾値を記述する。属性 type は“降水量7日間合計階級多い”の

	値をとり、階級閾値の内容を示す。属性 unit は降水量の単位を示す。属性 description には値の文字列表現が入る。
└ jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyAboveNormal	平年よりかなり多いとなる閾値を記述する。属性 type は“降水量7日間合計階級かなり多い”の値をとり、階級閾値の内容を示す。属性 unit は降水量の単位を示す。属性 description には値の文字列表現が入る。
└ jmx_eb:ThresholdOfMaximum	かなり多いとなるときの最大値（参考値）を記述する。属性 type は“降水量7日間合計階級最大値”の値をとり、階級閾値の内容を示す。属性 unit は降水量の単位を示す。属性 description には値の文字列表現が入る。
└ Station	対象地点について記述する。※
└ Name	地点の名称を記述する。
└ Code	地点のコードを記述する。

※対象地点は府県天気予報・府県週間天気予報\_解説資料付録を参照のこと

※ 1 - 1 「天気」の予報文の記述例

例	解説
<pre> &lt;WeatherPart&gt; &lt;jmx_eb:Weather type="基本天気" refID="1"&gt;&lt;もり&lt;/jmx_eb:Weather&gt; &lt;jmx_eb:Weather type="基本天気" refID="2"&gt;&lt;もり&lt;/jmx_eb:Weather&gt; &lt;jmx_eb:Weather type="基本天気" refID="3"&gt;&lt;もり一時雨&lt;/jmx_eb:Weather&gt; &lt;jmx_eb:Weather type="基本天気" refID="4"&gt;&lt;もり時々雨&lt;/jmx_eb:Weather&gt; &lt;jmx_eb:Weather type="基本天気" refID="5"&gt;&lt;もり一時雨&lt;/jmx_eb:Weather&gt; &lt;jmx_eb:Weather type="基本天気" refID="6"&gt;&lt;もり時々晴れ&lt;/jmx_eb:Weather&gt; &lt;jmx_eb:Weather type="基本天気" refID="7"&gt;&lt;もり時々晴れ&lt;/jmx_eb:Weather&gt; &lt;/WeatherPart&gt;                     </pre>	<p>天気予報文を記述する。 予報発表日翌日から7日先まで記述する。</p>

※ 1 - 1 「天気」のテロップ番号の記述例

例	解説
<pre> &lt;WeatherCodePart&gt; &lt;jmx_eb:WeatherCode type="天気予報用テロップ番号" refID="1"&gt;200&lt;/jmx_eb:WeatherCode&gt; &lt;jmx_eb:WeatherCode type="天気予報用テロップ番号" refID="2"&gt;200&lt;/jmx_eb:WeatherCode&gt; &lt;jmx_eb:WeatherCode type="天気予報用テロップ番号" refID="3"&gt;202&lt;/jmx_eb:WeatherCode&gt; &lt;jmx_eb:WeatherCode type="天気予報用テロップ番号" refID="4"&gt;203&lt;/jmx_eb:WeatherCode&gt; &lt;jmx_eb:WeatherCode type="天気予報用テロップ番号" refID="5"&gt;202&lt;/jmx_eb:WeatherCode&gt; &lt;jmx_eb:WeatherCode type="天気予報用テロップ番号" refID="6"&gt;201&lt;/jmx_eb:WeatherCode&gt; &lt;jmx_eb:WeatherCode type="天気予報用テロップ番号" refID="7"&gt;201&lt;/jmx_eb:WeatherCode&gt; &lt;/WeatherCodePart&gt;                     </pre>	<p>天気予報文に対応したテロップ番号を記述する。 予報発表日翌日から7日先まで記述する。</p>



※ 1 - 1 「降水確率」の記述例

例	解説
<pre> &lt;ProbabilityOfPrecipitationPart&gt; &lt;jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation type="日降水確率" unit="%" refID="1" condition="値なし" /&gt; &lt;jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation type="日降水確率" unit="%" refID="2" description="40パーセン ト"&gt;40&lt;/jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation&gt; &lt;jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation type="日降水確率" unit="%" refID="3" description="60パーセン ト"&gt;60&lt;/jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation&gt; &lt;jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation type="日降水確率" unit="%" refID="4" description="80パーセン ト"&gt;80&lt;/jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation&gt; &lt;jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation type="日降水確率" unit="%" refID="5" description="50パーセン ト"&gt;50&lt;/jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation&gt; &lt;jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation type="日降水確率" unit="%" refID="6" description="30パーセン ト"&gt;30&lt;/jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation&gt; &lt;jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation type="日降水確率" unit="%" refID="7" description="30パーセン ト"&gt;30&lt;/jmx_eb:ProbabilityOfPrecipitation&gt; &lt;/ProbabilityOfPrecipitationPart&gt; </pre>	<p>予報対象日の降水確率を記述する。          明日（予報発表日翌日）の降水確率は、          府県天気予報で発表しており、府県週          間天気予報では発表しない。明日の降          水確率は「値なし」で空タグとなる。</p>

※ 1 - 1 「信頼度」の記述例

例	解説
<pre> &lt;ReliabilityClassPart&gt; &lt;jmx_eb:ReliabilityClass type="信頼度階級" refID="1" condition="値なし" /&gt; &lt;jmx_eb:ReliabilityClass type="信頼度階級" refID="2" condition="値なし" /&gt; &lt;jmx_eb:ReliabilityClass type="信頼度階級" refID="3"&gt;B&lt;/jmx_eb:ReliabilityClass&gt; &lt;jmx_eb:ReliabilityClass type="信頼度階級" refID="4"&gt;B&lt;/jmx_eb:ReliabilityClass&gt; &lt;jmx_eb:ReliabilityClass type="信頼度階級" refID="5"&gt;C&lt;/jmx_eb:ReliabilityClass&gt; &lt;jmx_eb:ReliabilityClass type="信頼度階級" refID="6"&gt;B&lt;/jmx_eb:ReliabilityClass&gt; &lt;jmx_eb:ReliabilityClass type="信頼度階級" refID="7"&gt;B&lt;/jmx_eb:ReliabilityClass&gt; &lt;/ReliabilityClassPart&gt; </pre>	<p>予報対象日の信頼度階級を記述する。          明日と明後日（予報発表日翌日と2日          先）の信頼度は発表しない。          明日と明後日の信頼度は「値なし」で          空タグとなる。</p>

※ 2 - 1 「最高気温」の記述例

例	解説
<pre> &lt;TemperaturePart&gt;   &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温" unit="度" refID="1" condition="値なし" /&gt;   &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温" unit="度" refID="2" description="2 5 度"&gt;25 &lt;/jmx_eb:Temperature&gt;   &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温" unit="度" refID="3" description="2 2 度"&gt;22 &lt;/jmx_eb:Temperature&gt;   &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温" unit="度" refID="4" description="2 4 度"&gt;24 &lt;/jmx_eb:Temperature&gt;   &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温" unit="度" refID="5" description="2 7 度"&gt;27 &lt;/jmx_eb:Temperature&gt;   &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温" unit="度" refID="6" description="2 7 度"&gt;27 &lt;/jmx_eb:Temperature&gt;   &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温" unit="度" refID="7" description="2 7 度"&gt;27 &lt;/jmx_eb:Temperature&gt; &lt;/TemperaturePart&gt; </pre>	<p>明日（予報発表日翌日）の最高気温・最低気温は、府県天気予報で発表しており、府県週間天気予報では発表しない。</p> <p>明日の最高気温・最低気温は「値なし」で空タグとなる。</p>

※2-1 「気温予測範囲」の記述例

例	解説
<pre> &lt;Property&gt;   &lt;Type&gt;最高気温予測範囲&lt;/Type&gt;   &lt;TemperaturePart&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温予測範囲 (上端)" unit="度" refID="1" condition="値なし" /&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温予測範囲 (上端)" unit="度" refID="2" description="27度" /&gt;   &lt;/jmx_eb:Temperature&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温予測範囲 (上端)" unit="度" refID="3" description="26度" /&gt;   &lt;/jmx_eb:Temperature&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温予測範囲 (上端)" unit="度" refID="4" description="27度" /&gt;   &lt;/jmx_eb:Temperature&gt;   &lt;!-- (中略) 5日先から7日先の部分は省略 --&gt; &lt;/TemperaturePart&gt; &lt;/Property&gt; &lt;Property&gt;   &lt;Type&gt;最高気温予測範囲&lt;/Type&gt;   &lt;TemperaturePart&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温予測範囲 (下端)" unit="度" refID="1" condition="値なし" /&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温予測範囲 (下端)" unit="度" refID="2" description="23度" /&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温予測範囲 (下端)" unit="度" refID="3" description="21度" /&gt;     &lt;jmx_eb:Temperature type="最高気温予測範囲 (下端)" unit="度" refID="4" description="22度" /&gt;   &lt;/jmx_eb:Temperature&gt;   &lt;!-- (中略) 5日先から7日先の部分は省略 --&gt; &lt;/TemperaturePart&gt; &lt;/Property&gt; </pre>	<p>気温予測範囲とは、対象日の最高気温や最低気温が、どの範囲に予想されているかを示すもの。          予想されている範囲を（上端）（下端）で示す。</p> <p>左の例では、          発表日の2日先（refID="2"）の予想最高気温が、23度～27度の範囲に予想されていることを示す。</p> <p>明日（発表日翌日）の気温は府県週間天気予報では発表しないため、気温の予測範囲も発表しない。          明日の気温予測範囲は「値なし」で空タグとなる。</p>

※ 4 - 1 「降水量 7 日間合計の階級閾値」記述例

例	解説
<pre> &lt;PrecipitationClassPart&gt;   &lt;jmx_eb:ThresholdOfMinimum type="降水量 7 日間合計階級最小値" unit="mm" description="0. 4 ミリ"&gt;0. 4&lt;/jmx_eb:ThresholdOfMinimum&gt;   &lt;jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyBelowNormal type="降水量 7 日間合計階級かなり少ない" unit="mm" description="3. 8 ミリ"&gt;3. 8&lt;/jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyBelowNormal&gt;   &lt;jmx_eb:ThresholdOfBelowNormal type="降水量 7 日間合計階級少ない" unit="mm" description="23. 3 ミリ"&gt;23. 3&lt;/jmx_eb:ThresholdOfBelowNormal&gt;   &lt;jmx_eb:ThresholdOfAboveNormal type="降水量 7 日間合計階級多い" unit="mm" description="59. 0 ミリ"&gt;59. 0&lt;/jmx_eb:ThresholdOfAboveNormal&gt;   &lt;jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyAboveNormal type="降水量 7 日間合計階級かなり多い" unit="mm" description="119. 4 ミリ"&gt;119. 4&lt;/jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyAboveNormal&gt;   &lt;jmx_eb:ThresholdOfMaximum type="降水量 7 日間合計階級最大値" unit="mm" description="195. 7 ミリ"&gt;195. 7&lt;/jmx_eb:ThresholdOfMaximum&gt; &lt;/PrecipitationClassPart&gt; </pre>	<p>府県週間天気予報には、発表日翌日から 7 日先までの 7 日間の降水量平年値階級を記載している。</p> <p>平年値階級は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最小値（参考値）</li> <li>・かなり少ない</li> <li>・少ない</li> <li>・多い</li> <li>・かなり多い</li> <li>・最大値（参考値）</li> </ul> <p>の閾値について記述する。</p> <p>例えば、平年並の範囲は、「少ない」の閾値を超えて、「多い」閾値以下の範囲となる。左の例では、23.3 ミリより多く、59.0 ミリ以下の範囲が平年並の範囲となる。</p> <p>なお、7 日間降水量の平年値が、未整備等の理由で存在しない場合は、閾値に負数（値「-999.9」）を記述する。</p>